

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院の大腿骨近位部骨折術後のリハビリテーションの現状把握および課題の抽出

2. 研究の対象患者

旭中央病院で2023年4月から2024年3月の間で大腿骨近位部骨折に対して手術を施行した患者さんで以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない患者さん

・選択基準

- 1) 大腿骨近位部骨折に対して手術を施行した患者さん
- 2) 理学療法介入がある患者さん

・除外基準

なし

3. 研究の対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

4. 研究の概要

超高齢社会に突入した本邦では、大腿骨近位部骨折を受傷する高齢者は増加する傾向にある。年間約17万人受傷者が発生しており、2030年には約30万人に達すると予測されている。高齢化に伴い増加する大腿骨近位部骨折において急性期医療機関では在院日数の短縮が求められていると報告されている。そのような中で、当院においても術後の身体機能の回復に難渋し入院期間が長期化することを多く経験する。

そこで、当院の大腿骨近位部骨折術後のリハビリテーションの現状と転帰の傾向を調査し分析することとした。

5. 研究実施予定期間

2025年5月21日～2025年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、入退院日、手術名・手術日、診断名、病前ADL、病前移動手段、病前住居、術後合併症、転帰、同居の有無、同居人数

〔リハビリテーション〕：リハビリ開始日、作業療法の介入の有無、座位開始日、立位開始日、車椅子乗車日、平行棒内歩行開始日、歩行器歩行開始日、杖歩行開始日、独歩開始日、外来リハの有無、入院リハ日数、入院理学療法単位数、入院作業療法単位数

〔血液学的検査〕：Hb

〔血液生化学的検査〕：eGFR、CRP、TP、ALB、TC、TLC

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者(又は代諾者)個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者： リハビリテーション科 遠藤響

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)